

注意事項

- 1 試験開始時刻 9時30分
2 試験科目数別終了時刻

科目数	1科目	2科目	3科目
終了時刻	10時10分	10時50分	11時30分

- 3 試験科目別の問題数(解答数)及び試験問題ページ

科目	問題数(解答数)					試験問題ページ
	第1問	第2問	第3問	第4問	第5問	
電気通信技術の基礎	4	5	4	4	5	J - 1 ~ 6
端末設備の接続のための技術及び理論	5	5	5	5		J - 7 ~ 10
端末設備の接続に関する法規	5	5	5	5		J - 11 ~ 14

- 4 受験番号等の記入とマークの仕方

- (1) マークシート(解答用紙)にあなたの受験番号、生年月日及び氏名をそれぞれ該当枠に記入してください。
(2) 受験番号及び生年月日に該当する箇所を、それぞれマークしてください。
(3) 生年月日の欄は、年号をマークし、生年月日に1けたの数字がある場合、十の位のけたの「0」もマークしてください。

[記入例] 受験番号 01J9211234

生年月日 昭和50年3月1日

受験番号									
0	1	J	9	2	1	1	2	3	4
●	○		○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

生年月日											
年号	5	0	0	3	0	1	年	3	月	1	日
	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
平成	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
昭和	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
大正	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

- 5 答案作成上の注意

- (1) 解答は、別に配付するマークシート(解答用紙)の該当欄の正解として選んだ番号マーク枠を、黒の鉛筆(HB又はB)で濃く塗りつぶしてください。
ボールペン、万年筆などでマークした場合は、採点されませんので、使用しないでください。
一つの問いに対する解答は一つだけです。二つ以上マークした場合、その問いについては採点されません。
マークを訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してください。
(2) 免除の科目がある場合は、その科目欄は記入しないでください。
(3) この問題用紙に記入しても採点されません。
(4) 試験問題についての特記事項は、裏表紙に表記してあります。

- 6 合格点及び問題に対する配点

- (1) 各科目の満点は100点で、合格点は60点以上です。
(2) 各問題の配点は、設問文の末尾に記載してあります。

マークシート(解答用紙)は、絶対に折り曲げたり、汚したりしないでください。

次ページ以降は試験問題です。試験開始の合図があるまで、開かないでください。

受験番号 (控え)									
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(今後の問い合わせなどに必要になります。)

電気通信技術の基礎

第1問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

(1) 図1に示す回路において、端子 a - b間の合成抵抗は、 オームである。 (5点)

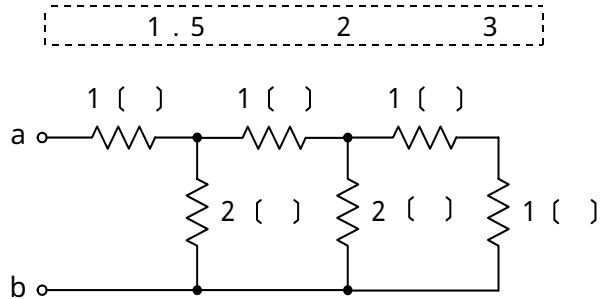


図 1

(2) 図2に示す回路において、端子 a - b間に12ボルトの交流電圧を加えたとき、回路に流れる全電流は、 アンペアである。 (5点)

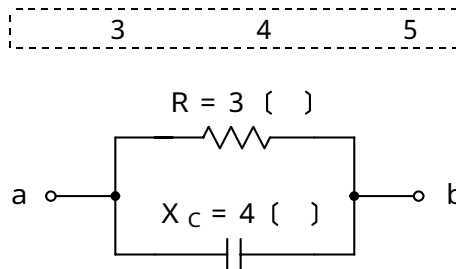


図 2

(3) 静電容量Cファラドのコンデンサに大きさVボルトの直流電圧が加えられているとき、このコンデンサに蓄えられている静電エネルギーは、 ジュールである。 (5点)

$\frac{1}{2} C V^2$
 $\frac{1}{2} C^2 V$
 $\frac{1}{2} C^2 V^2$

(4) 断面が円形の導線の単位長さ当たりの電気抵抗は、その直径を2倍にすると、 倍になる。 (5点)

$\frac{1}{2}$
 $\frac{1}{4}$
 $\frac{1}{8}$

第2問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

- (1) p形半導体のキャリアについて述べた次の記述のうち、正しいものは、 (ア) である。 (4点)

正孔の数が自由電子の数より多い。
 自由電子の数が正孔の数より多い。
 正孔の数と自由電子の数は同数である。

- (2) 図1に示す回路に、図2に示す波形の入力電圧 V_I を加えると、出力電圧 V_O は、 (イ) の波形となる。ただし、ダイオードは理想的な特性を持ち、 $|V| > |E|$ とする。 (4点)

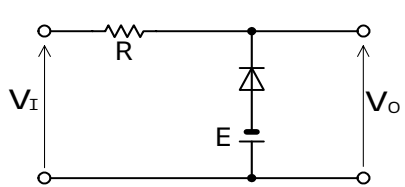
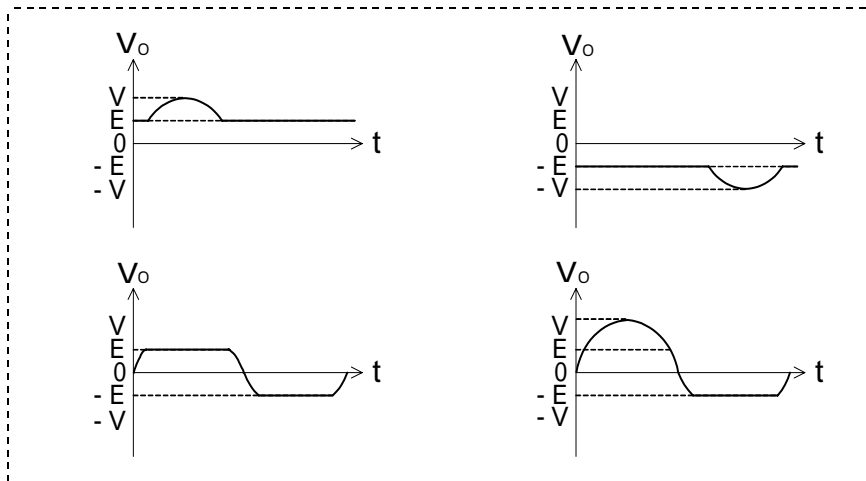


図1

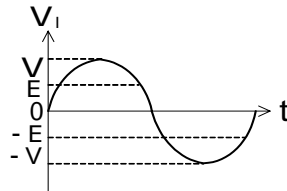


図2

- (3) トランジスタ回路は、接地方式によりそれぞれの特徴を有するが、電力増幅作用が最も大きいのは、 (ウ) 接地方式である。 (4点)

ベース コレクタ エミッタ

- (4) バイアス回路は、トランジスタなどの動作点の設定を行うために必要な (工) を供給するための回路である。 (4点)

直流電流 交流電流 入力信号

- (5) トランジスタ増幅回路の入力側に0.3ボルトの電圧を加えたとき、出力側に3.0ボルトの電圧が得られた。この増幅回路の電圧利得は (才) デシベルとなる。 (4点)

20 40 100

第3問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

(1) 表1に示す数式 $X_1 \sim X_3$ のうち、最も小さな値となるものは、 (ア) である。 (5点)

X_1 X_2 X_3

表1

数 式
$X_1 = 317$ (10進数)
$X_2 = 100111110$ (2進数)
$X_3 = 2^0 + 2^1 + 2^2 + 2^3 + 2^4 + 2^5 + 2^8$

(2) 図1及び図2に示すベン図において、A、B及びCが、それぞれの円の内部を表すとき、図1及び図2の塗りつぶした部分を示す論理式の論理和は、 (イ) である。 (5点)

$A \cdot B + \overline{A} \cdot C + B \cdot C$ $A \cdot \overline{C} + \overline{A} \cdot C + B \cdot \overline{C}$
 $A \cdot B \cdot \overline{C} + \overline{A} \cdot \overline{B} \cdot C$

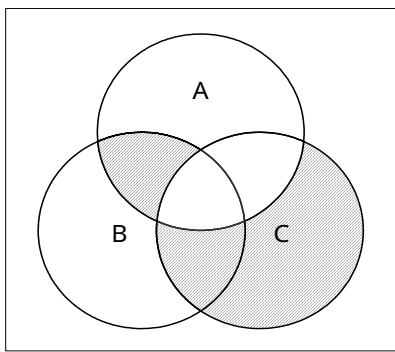


図1

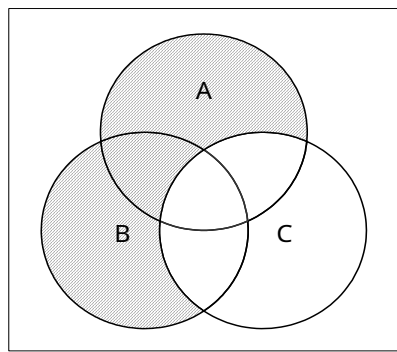


図2

- (3) 図3の論理回路において、入力a及び入力bに図4に示す入力がある場合、図3の出力cは、
図4の出力のうち **(ウ)** である。 (5点)

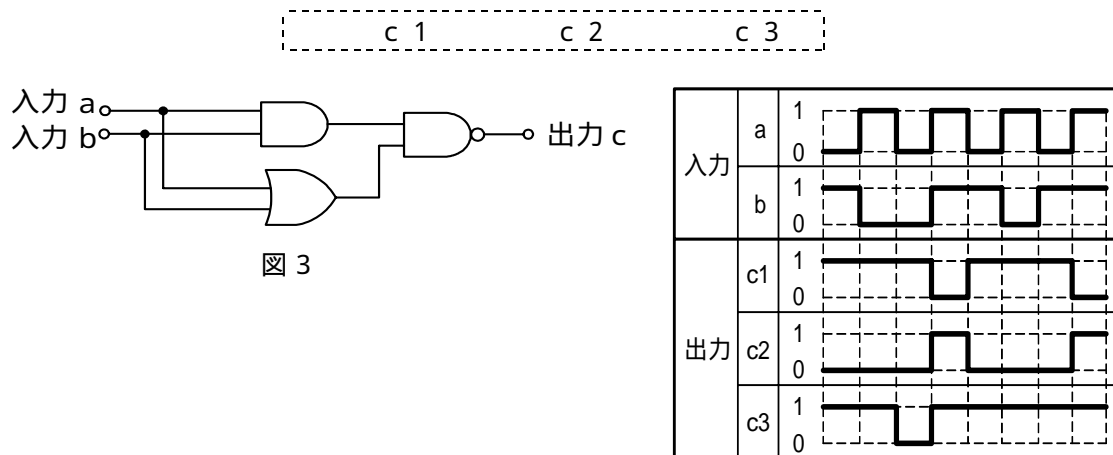


図4

- (4) 表2に示す論理関数Xのうち、ブール代数の公式等を利用して変形し、簡単にすると、論理式が、

$X = B + \overline{C}$
になるものは、 **(工)** である。 (5点)

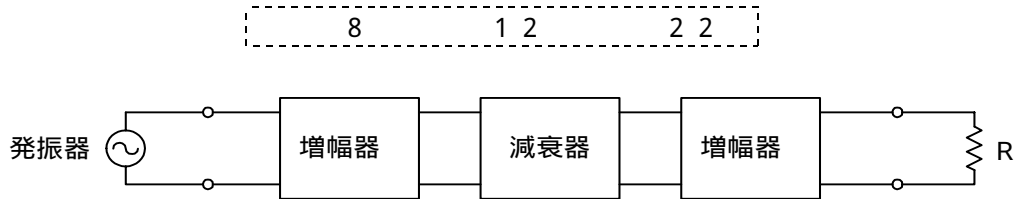
イ
ロ
ハ

表2

	論理関数
イ	$X = (A + \overline{B}) \cdot (\overline{B} + C) + (A + \overline{B}) \cdot (B + \overline{C})$
ロ	$X = (A + \overline{B}) \cdot (B + \overline{C}) + (A + B) \cdot (B + \overline{C})$
ハ	$X = (A + \overline{B}) \cdot (B + C) + (A + B) \cdot (B + C)$

第4問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

- (1) 図において、入力電力が30ミリワット、増幅器、増幅器の利得がそれぞれ12デシベル、10デシベルで、減衰器の減衰量が デシベルのとき、負荷抵抗Rで消費する電力は、300ミリワットである。ただし、入出力各部のインピーダンスは、整合しているものとする。 (5点)



- (2) 誘導回線の信号が被誘導回線に現れる漏話のうち、誘導回線の信号の伝送方向を正とすると、正の方向に現れるものは、 漏話といわれる。 (5点)

- (3) 同軸ケーブル及び平衡対ケーブルについて述べた次の二つの記述は、 。 (5点)
- A 同軸ケーブルは、外部導体の働きにより、平衡対ケーブルと比較して、比較的高い周波数において誘導などの妨害を受けにくい。
- B 平衡対ケーブルは、一般に、伝送する信号の周波数が高くなるほど伝送損失が減少する。

- (4) 長距離の線路を介して信号を伝送する場合、線路の特性インピーダンスに対する受端インピーダンスの比が のときに最も効率よく信号が伝送される。 (5点)

第5問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計20点)

- (1) 振幅変調によって生じた上側波帯と下側波帯のいずれかを伝送する方法は、 (ア) 通信方式といわれる。(4点)

D S B S S B V S B

- (2) ある周波数範囲の周波数の信号のみを通過させ、その他の周波数の信号に対しては大きな減衰を与えるフィルタは、 (イ) 通過フィルタといわれる。(4点)

低 域 帯 域 高 域

- (3) 伝送系の位相量が、周波数に対して比例関係にないために生ずるひずみは、 (ウ) ひずみといわれ、伝送品質を劣化させる原因となる。(4点)

減 衰 非直線 群遅延

- (4) 原理的に、電気通信回線の物理的な特性に依存しない雑音の一つに、 (エ) 雑音がある。(4点)

熱 ショット 量子化

- (5) T D M A方式は、複数のユーザが、伝送路を (オ) に分割して使用する方式であり、送受信端末間でフレーム同期をとる必要がある。(4点)

空間的 時間的 周波数的

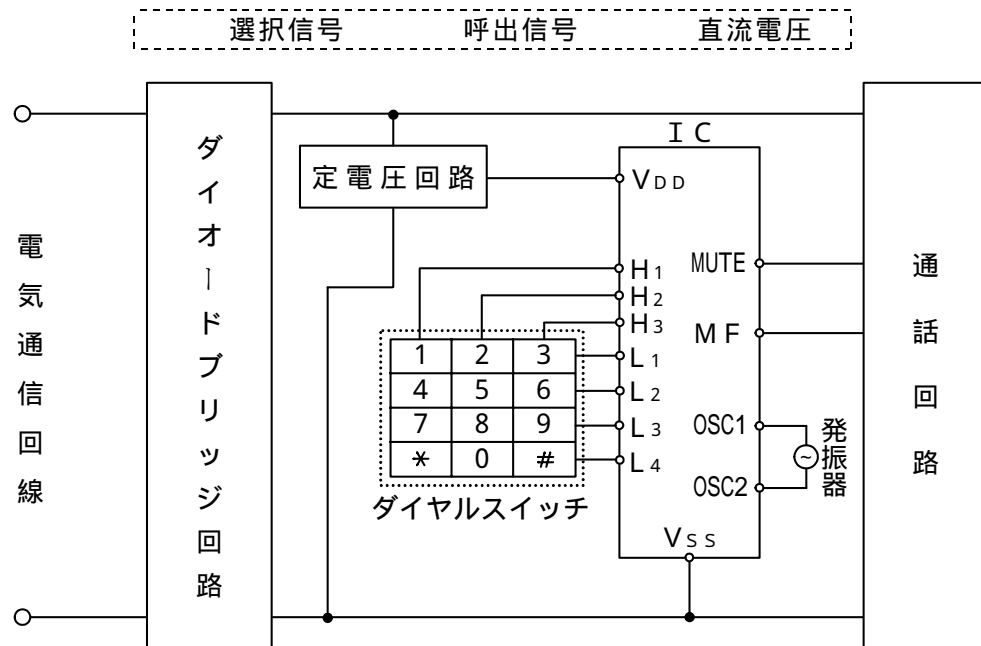
端末設備の接続のための技術及び理論

第1問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) 押しボタンダイヤル式電話機への着信の場合、交換機からの呼出信号により電話機のベルが鳴動する。一般に、送受器を上げることによって電気通信回線に対して (ア) が形成され、交換機へ応答を知らせる。(5点)

リンク 直流ループ 交流ループ

- (2) 図は押しボタンダイヤル式電話機の回路構成を示したものである。図中のダイオードブリッジ回路は、電気通信回線側の電圧極性が反転しても、押しボタンダイヤル信号発生用のICなどへ供給する (イ) の極性を一定に保つ動作をする。(5点)



- (3) 留守番電話機には、外出先で押しボタンダイヤル式電話機からPB信号を用いて (ウ) などを送出し、留守中に録音された内容を聞くことなどができる遠隔操作機能を備えたものがある。(5点)

監視信号 暗証番号 応答信号

- (4) ファクシミリにおける同期とは、送信走査と受信走査の画素の位置を常に一致させることであり、その一つに、走査の (エ) を一致させる位相同期がある。(5点)

開始点 振幅 速度

- (5) ITU-T勧告V.32で規定されている変復調装置では、2線式の電気通信回線を用いて、(オ) 方式による全二重通信が可能である。(5点)

ピンポン伝送 周波数分割 エコーキャンセラ

第2問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計25点)

- (1) ISDN基本ユーザ・網インタフェースは、二つの情報チャンネルと一つの信号チャンネルから成り、最大の伝送容量は、 キロビット/秒である。 (5点)

128 144 192

- (2) ISDN基本ユーザ・網インタフェースの参照構成は、NT1、NT2、TA、TE1及びTE2の機能グループ並びに参照点S、T及びRから構成され、 は、NT1の機能を有している。 (5点)

デジタル回線終端装置 変復調装置 アナログ電話機

- (3) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおいて、バス配線上の伝送速度は、 キロビット/秒である。 (5点)

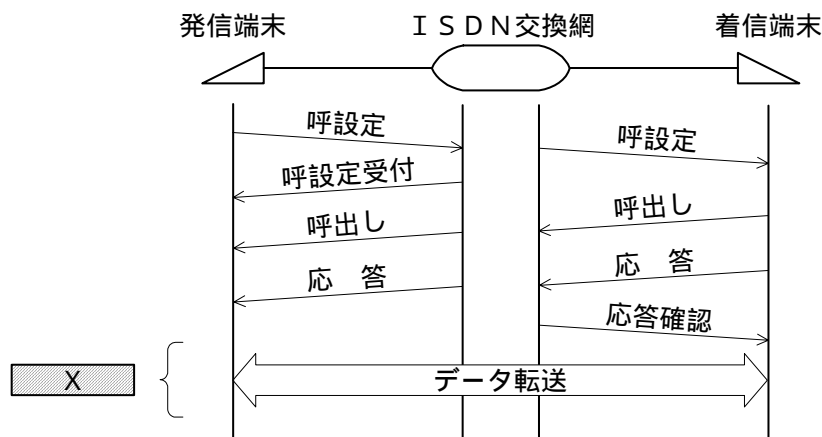
64 128 192

- (4) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおける の特徴の一つに、バス配線上の複数端末を識別する機能があることから、端末を同一バス配線上の他のジャックへ移動しても、通信を行うことができる。 (5点)

レイヤ1 レイヤ2 レイヤ3

- (5) 図は、ISDN基本ユーザ・網インタフェースの回線交換呼のデータ転送までのシーケンスを示す。Xの部分のシーケンスは、 チャンネルを使用して通信が行われる。 (5点)

16キロビット/秒のB 32キロビット/秒のB
64キロビット/秒のB 64キロビット/秒のD



第3問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) ISDN基本アクセスメトリック加入者線伝送方式に用いられるDSUには、加入者線の線路損失やブリッジタップによるエコーを補償するための (ア) が用いられている。(5点)

端末終端回路 等化器 電力分離フィルタ

- (2) ISDN基本ユーザ・網インタフェースの機能群に対応する装置において、ISDN標準端末としては、 (イ) などの装置が具体的な例として挙げられる。(5点)

グループ4ファクシミリ アナログモデム 端末アダプタ

- (3) 端末アダプタの独自機能のうち、ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおける二つのBチャンネルを利用することにより、通話中に新たな着信があった場合、通話中の相手を保留し新たな着信に応答できる機能は、一般に、 (ウ) といわれる。(5点)

サブアドレス 疑似三者通話 疑似キャッチホン

- (4) 電子メールを利用する場合の添付ファイルの取扱いなどについて述べた次の二つの記述は、 (エ) 。

- A 見知らぬ相手先から届いた添付ファイル付きのメールは、無条件で削除することが望ましい。
B メール本文でまかなえるようなものをテキスト形式などのファイルで添付しない。

Aのみ正しい Bのみ正しい AもBも正しい AもBも正しくない

- (5) コンピュータの所有者や管理者が気づかないうちに不正アクセスや迷惑メール配信の中継に利用されるコンピュータは、一般に、 (オ) といわれる。(5点)

踏み台 バックドア ハニーポット

第4問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) 屋内配線と電話機などとの接続に用いられる6極2心対応のジャック式ローゼットには、断線などの故障発生時の原因が電気通信回線側にあるか端末側にあるかを切り分けるための試験を行うことができるように、 (ア) を実装したものがある。(5点)

コイル ダイオード 抵抗及びコンデンサ

- (2) 直流回路を開くことなく通電状態のままに直流電流を測定する場合、測定器として (イ) を用いる方法がある。(5点)

静電型テスタ 整流器型テスタ クランプメータ

- (3) ISDN回線に端末設備としてグループ4ファクシミリを接続する工事において、グループ4ファクシミリは、ISDN回線に接続されたDSU内蔵TAの (ウ) 端子に接続しなければならない。(5点)

S/T アナログ RS-232C

- (4) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおいて、NTとTEがポイント・ツー・マルチポイント配線で構成される場合、TEを最大 台接続することができる。(5点)

- (5) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおけるTAとアナログ電話端末との間は、 線式アナログインタフェースで接続される。(5点)

端末設備の接続に関する法規

第1問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から、「電気通信事業法」又は「電気通信事業法施行規則」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。
(小計25点)

(1) 用語について述べた次の文章のうち、誤っているものは、 (ア) である。 (5点)

電気通信事業者とは、電気通信事業を営むことについて、電気通信事業法の規定による総務大臣の登録を受けた者及び同法の規定により総務大臣への届出をした者をいう。

基礎的電気通信役務とは、国民生活に不可欠であるためあまねく日本全国における提供が確保されるべきものとして総務省令で定める電気通信役務をいう。

データ伝送役務とは、おおむね4キロヘルツ帯域の音声その他の音響を伝送交換する機能を有する電気通信設備を他人の通信の用に供する電気通信役務をいう。

(2) 電気通信事業者は、電気通信事業法に規定する重要通信の円滑な実施を他の電気通信事業者と (イ) を図りつつ確保するため、他の電気通信事業者と電気通信設備を相互に接続する場合には、総務省令で定めるところにより、重要通信の (ウ) な取扱いについて取り決めることその他の必要な措置を講じなければならない。 (5点×2 = 10点)

相互に連携	秩序の維持	国民の利便
基本的	優先的	合理的

(3) 「工事担任者による工事の実施及び監督」について述べた次の二つの文章は、 (エ) 。 (5点)

- A 利用者は、端末設備又は自営電気通信設備を接続するときは、工事担任者資格者証の交付を受けている者に、当該工事担任者資格者証の種類に応じ、これに係る工事を行わせ、又は実地に監督させなければならない。ただし、総務省令で定める場合は、この限りでない。
- B 工事担任者は、端末設備又は自営電気通信設備の接続の工事の実施又は監督の職務を誠実に行わなければならない。

Aのみ正しい Bのみ正しい AもBも正しい AもBも正しくない

(4) 電気通信事業法に規定する電気通信事業とは、電気通信役務を (オ) に応ずるために提供する事業をいう。 (5点)

公正な競争	他人の需要	公共の福祉
-------	-------	-------

第2問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から、「工事担任者規則」、「端末機器の技術基準適合認定等に関する規則」、「有線電気通信法」、「有線電気通信設備令」又は「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) AI第三種工事担任者は、アナログ伝送路設備に端末設備を接続するための工事のうち、端末設備に收容される電気通信回線の数1のものに限る工事を行い、又は監督することができる。また、総合デジタル通信用設備に端末設備を接続するための工事のうち、総合デジタル通信回線の数が (ア) で1のものに限る工事を行い、又は監督することができる。(5点)

インターネット接続のための回線 毎秒64キロビット換算
 基本インタフェース

- (2) 端末機器の技術基準適合認定等に関する規則に規定する用語について述べた次の二つの文章は、 (イ)。(5点)
- A 電話用設備とは、電気通信事業の用に供する電気通信回線設備であって、主として音声の伝送交換を目的とする電気通信役務の用に供するものをいう。
- B 総合デジタル通信用設備とは、電気通信事業の用に供する電気通信回線設備であって、主として64キロビット毎秒を単位とするデジタル信号の伝送速度により符号、音声その他の音響又は影像を統合して伝送交換することを目的とする電気通信役務の用に供するものをいう。

Aのみ正しい Bのみ正しい AもBも正しい AもBも正しくない

- (3) 有線電気通信設備を設置(その設置について総務大臣に届け出る必要のないものを除く。)しようとする者は、 (ウ)、設備の設置の場所及び設備の概要を記載した書類を添えて、設置の工事の開始の日の2週間前まで(工事を要しないときは、設置の日から2週間以内)に、その旨を総務大臣に届け出なければならない。(5点)

有線電気通信の提供時期 有線電気通信の方式の別
 端末設備の接続の技術的条件

- (4) 有線電気通信設備令に規定する用語について述べた次の文章のうち、正しいものは、 (エ)である。(5点)

電線とは、有線電気通信(送信の場所と受信の場所との間の線条その他の導体を利用して、電磁的方式により信号を行うことを含む。)を行うための導体(絶縁物又は保護物で被覆されている場合は、これらの物を含む。)であって、強電流電線に重畳される通信回線に係るもの以外のものをいう。

ケーブルとは、光ファイバ以外の絶縁物のみで保護されている電線をいう。

音声周波とは、周波数が300ヘルツを超え、4,000ヘルツ以下の電磁波をいう。

- (5) 不正アクセス行為の禁止等に関する法律は、不正アクセス行為を禁止するとともに、これについての罰則及びその再発防止のための都道府県公安委員会による援助措置等を定めることにより、電気通信回線を通じて行われる電子計算機に係る犯罪の防止及び (オ)により実現される電気通信に関する秩序の維持を図り、もって高度情報通信社会の健全な発展に寄与することを目的とする。(5点)

アクセス制御機能 アクセス管理者 電子署名

第3問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から、「端末設備等規則」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

(1) 用語について述べた次の文章のうち、誤っているものは、 (ア) である。(5点)

無線呼出用設備とは、電気通信事業の用に供する電気通信回線設備であって、無線によって利用者に対する呼出し(これに付随する通報を含む。)を行うことを目的とする電気通信役務の用に供するものをいう。
総合デジタル通信端末とは、端末設備であって、デジタルデータ伝送用設備に接続されるものをいう。
アナログ電話用設備とは、電話用設備であって、端末設備又は自営電気通信設備を接続する点においてアナログ信号を入出力とするものをいう。

(2) 移動電話用設備とは、電話用設備であって、端末設備又は (イ) との接続において電波を使用するものをいう。(5点)

自営電気通信設備 事業用電気通信設備 電気通信回線設備

(3) 安全性等について述べた次の二つの文章は、 (ウ) である。(5点)

- A 端末設備は、事業用電気通信設備との間で鳴音(電氣的又は音響的結合により生ずる発振状態をいう。)を発生することを防止するために総務大臣が別に告示する条件を満たすものでなければならない。
B 端末設備の機器の金属製の台及び筐体は、接地抵抗が10オーム以下となるように接地しなければならない。ただし、安全な場所に危険のないように設置する場合にあっては、この限りでない。

Aのみ正しい Bのみ正しい AもBも正しい AもBも正しくない

(4) 責任の分界及び安全性等について述べた次の文章のうち、誤っているものは、 (エ) である。(5点)

利用者の接続する端末設備は、事業用電気通信設備との責任の分界を明確にするため、事業用電気通信設備との間に分界点を有しなければならない。
分界点における接続の方式は、端末設備を電気通信回線ごとに事業用電気通信設備から容易に切り離せるものでなければならない。
通話機能を有する端末設備は、通話中に受話器から過大な誘導雑音が発生することを防止する機能を備えなければならない。

(5) 配線設備等の電線相互間及び電線と大地間の絶縁抵抗は、直流200ボルト以上の一の電圧で測定した値で (オ) メガオーム以上であること。(5点)

0.2 0.4 1

第4問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から、「端末設備等規則」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

(1) 絶対レベルとは、一の皮相電力の (ア) に対する比をデシベルで表したものをいう。(5点)

1ワット 1ミリワット 1マイクロワット

(2) アナログ電話端末は、電気通信回線に対して (イ) の電圧を加えるものであってはならない。(5点)

交流 音声周波 直流

(3) 移動電話端末が備えなければならない「基本的機能」について述べた次の文章のうち、誤っているものは、 (ウ) である。(5点)

発信を行う場合にあっては、発信を要求する信号を送出するものであること。
 応答を行う場合にあっては、応答を要求する信号を送出するものであること。
 通信を終了する場合にあっては、チャンネル(通話チャンネル及び制御チャンネルをいう。)を切断する信号を送出するものであること。

(4) 複数の電気通信回線と接続されるアナログ電話端末の回線相互間の漏話減衰量は、1,500ヘルツにおいて (エ) デシベル以上でなければならない。(5点)

70 80 90

(5) 総合デジタル通信端末が備えなければならない「発信の機能」について述べた次の二つの文章は、 (オ) である。(5点)

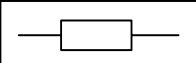

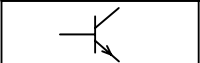
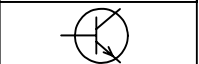
A 発信に際して相手の端末設備からの応答を自動的に確認する場合にあっては、電気通信回線からの応答が確認できない場合呼設定メッセージ送出終了後2分以内に呼切断用メッセージを送出するものであること。

B 自動再発信を行う場合(自動再発信の回数が15回以内の場合を除く。)にあっては、その回数は最初の発信から3分間に2回以内であること。この場合において、最初の発信から3分を超えて行われる発信は、別の発信とみなす。なお、この規定は、火災、盗難その他の非常の場合にあっては、適用しない。

Aのみ正しい Bのみ正しい AもBも正しい AもBも正しくない

試験問題についての特記事項

- (1) 試験問題に記載されている製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。
なお、試験問題では、® 及び TM を明記していません。
- (2) 問題文及び図中などで使用しているデータは、すべて架空のもです。
- (3) 試験問題、図中の抵抗器及びトランジスタの表記は、旧図記号を用いています。

新図記号	旧図記号	新図記号	旧図記号
			

- (4) 論理回路の記号は、MIL記号を用いています。
- (5) 試験問題では、常用漢字を使用することを基本としていますが、次の例に示す専門的用語などについては、常用漢字以外も用いています。
[例] ・迂回(うかい) ・鍵(かぎ) ・筐体(きょうたい) ・桁(けた) ・躰(しつけ) ・充填(じゅうてん)
・輻輳(ふくそう) ・燃り(より) ・漏洩(ろうえい) など
- (6) バイト(Byte)は、デジタル通信において情報の大きさを表すために使われる単位であり、一般に、2進数の8桁、8ビット(Bit)です。
- (7) 情報通信の分野では、8ビットを表すためにバイトではなくオクテットが使われますが、試験問題では、一般に、使われる頻度が高いバイトを用いています。
- (8) 法令に表記されている「メガオーム」は、「メガオーム」と同じ単位です。
- (9) 試験問題のうち、正誤を問う設問において、句読点の有無など日本語表記上若しくは日本語文法上の誤りだけで誤り文とするような出題はしてありません。